

# 高齢者肺炎球菌ワクチンの定期予防接種について

## 1. 対象者

- ① 満65歳の人（この通知が届いた人）
- ② 60～65歳未満で、心臓・腎臓・呼吸器の機能に障害者手帳1級程度の障害を有する人  
またはヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に障害者手帳1級程度の障害を有する人

**※定期接種（公費助成）の対象となるのは、1年間のみです。**

**※過去に肺炎球菌ワクチンを接種したことがある人（任意接種含む）で、定期接種のとして接種必要でない判断された人や過去に定期接種として肺炎球菌ワクチンを接種したことがある人は対象外となりますので、今回お送りした接種券はご利用いただけません。**

接種を希望する場合は、接種料金が全額自己負担となります。

## 2. 接種に必要な物

- (1) 「接種券兼予診票」及び「高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種済証」（紫色の紙）
- (2) 自己負担金 3,500円（生活保護世帯は無料）
- (3) マイナンバーカードなど住所・年齢などが確認できるもの

## 3. その他

■ 本予防接種は、B類疾病の予防接種であり、接種を受ける法律上の義務はありません。自らの意思で接種を希望する人のみに接種を行うものです。接種を希望する人は、予防効果や副反応などについて、十分に理解したうえで、医師と相談し接種してください。

■ 接種券の有効期限は、66歳の誕生日の前日までです。期限を過ぎて接種する場合は、接種料金（約12,000円）が全額自己負担となりますのでご注意ください

# 高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種説明書

## 肺炎球菌感染症の概要

肺炎球菌感染症とは、肺炎球菌という細菌によって引き起こされる病気です。この菌は、主に気道の分泌物に含まれ、咳やくしゃみなどを通じて飛沫感染します。日本人の約5～10%の高齢者では鼻や喉の奥に菌が常在しているとされます。これらの菌が増殖し、下気道や血流中へ侵入することで、気管支炎、肺炎、敗血症などの重い合併症を起こすことがあります。

## 使用するワクチンと接種方法、そのスケジュール

高齢者に対する肺炎球菌ワクチンは、沈降20価肺炎球菌結合型ワクチン（PCV20）を用いて、1回筋肉内に接種します。

なお、令和8年度より、定期接種で用いるワクチンが23価肺炎球菌莢膜ポリサッカライドワクチン（PPSV23）から、沈降20価肺炎球菌結合型ワクチン（PCV20）に変更になりました。

## 接種できない方、接種に注意が必要な方

ジフテリアトキソイドによってアナフィラキシーを呈したことがあることが明らかな方、明らかな発熱を呈している方、重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな方、また予防接種を行うことが不適当な状態にある方等は接種できません。

また、免疫不全と診断されている方や、近親者に先天性免疫不全症の方がいる方、心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患等の基礎疾患を有する方、予防接種を受けて2日以内に発熱や全身性発疹などのアレルギーを疑う症状を呈したことがある方、過去に痙攣をおこしたことがある方、沈降 20 価肺炎球菌結合型ワクチンの成分や、ジフテリアトキソイドに対してアレルギーを呈するおそれのある方、血小板減少症、凝固障害、抗凝固療法を受けている方は接種に注意が必要です。

## ワクチンの効果

肺炎球菌には、100種類以上の血清型があり、定期接種で使用される沈降 20 価肺炎球菌結合型ワクチンは、そのうち 20 種類の血清型を対象としたワクチンであり、この 20 種類の血清型は、成人侵襲性肺炎球菌感染症(※)の原因の約 5～6 割を占めるという研究結果があります。

また、沈降 20 価肺炎球菌結合型ワクチンは、血清型に依らない侵襲性肺炎球菌感染症全体の 3～4 割程度を予防する効果があるという研究結果があります。

※侵襲性感染症とは、本来は菌が存在しない血液、髄液、関節液などから菌が検出される感染症のことをいいます。

## ワクチンの安全性

ワクチンを接種後に以下のような副反応がみられることがあります。また、頻度は不明ですが、ショック・アナフィラキシー、痙攣（熱性痙攣含む）、血小板減少性紫斑病がみられることがあります。

接種後に気になる症状を認めた場合は、接種した医療機関へお問い合わせください。

### <ワクチンを接種した部位の症状>

発現割合	主な副反応
30%以上	疼痛・圧痛* (59.6%)、筋肉痛 (38.2%)、疲労 (30.3%)
10%以上	頭痛 (21.7%)、関節痛 (11.6%)
1%以上	紅斑、腫脹

## 他のワクチンとの同時接種・接種間隔

医師が特に必要と認めた場合は、インフルエンザワクチンや新型コロナワクチン、带状疱疹ワクチン等の他のワクチンと同時接種が可能です。また、他のワクチンとの接種間隔に制限はありません。

## 接種を受けた後の注意点

ワクチンの接種後 30 分程度は安静にしてください。また、体調に異常を感じた場合には、速やかに医師へ連絡してください。

注射した部分は清潔に保つようにしてください。接種当日の入浴は問題ありません。

当日の激しい運動は控えるようにしてください。

## 予防接種健康被害救済制度について

予防接種は、感染症を予防するために重要なものですが、健康被害（病気になったり障害が残ったりすること）が起こることがあります。極めてまれではあるものの、副反応による健康被害をなくすることはできないことから、救済制度が設けられています。

制度の利用を申込む時は、予防接種を受けた時に住民票を登録していた市町村にご相談ください。